



大機器協

# 活動レポート

組合変身中!

Vol. 3

2018年11月

発行：大阪機械器具卸商協同組合

事務局

〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目2番18号 いちご西本町ビル11階  
TEL.06-6541-6802 FAX.06-6541-6530 <http://www.daiki.or.jp>

平素は、当組合の活動に多大なご協力とご支援をいただき、ありがとうございます。

当組合の活動を定期的にご報告する『組合活動レポート』のVol.3を作成いたしました。

当組合は中山哲也理事長体制で2年目を迎えており、さまざまな新たな取り組みを加速しているところです。新体制発足後、コミュニケーション委員会（委員長西川正一氏）・企業見学委員会（委員長古里龍平氏）・社会見学委員会（委員長木村吾郎氏）の3つの委員会を立ち上げ、各委員会主導で行事の企画・運営を行うことにしたのに始まり、賛助会員を「メーカー会員」に改めて、交流の一層強化を図っていきことになりました。組合組織の在り方についても検討を加え、今年5月の総代会において総代制および支部制の廃止を決議。代わって全組合員参加型の「会員総会」を行っていくことになりました。

また、昨年5月に当組合初の海外視察旅行としてアイリスオーヤマ(株)様の中国・大連工場を訪問。そして、今年3月にスズキ(株)様の湖西工場などで見学会を催し、今年8月には津波・防災ステーション（大阪市西区）で社会見学を行いました。

来年も、新年賀詞交歓会、関西ブロック会議、企業見学会など行事は目白押しで計画しております。当組合としましては、これからも組合員・メーカー会員の皆様の“気づき”の機会の創出に努めています。その趣旨をご理解いただき、引き続いて当組合活動にご支援・ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。



第46回総代会であいさつする中山理事長

総代会の冒頭、中山哲也理事長は「制度の変更は、組合の現状に合わせるため。波風を立てると損だから何も変えないというのは、組合が残念な形になりかねない。この変更で、組合活動がもっと楽しく有益になればと思う。組合をもっと盛り上げていきたい」などと述べて理解を求めました。

その後、各種議案を審議し、平成30年度の事業計画・収支予算案など全議案が承認を受けました。

このうち、総代制と支部制の廃止の議案も原案通り承認され、これにともない、次年度からは全組合員参加型の会員総会によって組合の意思決定を行うこととなりました。また、承認を受けた事業計画は①経営者が参加・交流する事業を充実して行きます②全機工連大阪大会（2019年10月）の準備を確実に進めてまいります③組合員共済事業の増強を図ります - の3点を骨子としています。

そして、この場では約12年間、当組合の事務局で専務理事を担当した阪口徳和氏が8月末日をもって退職すること、そして江角幸裕氏がその後任となることが報告されました。

## 第46回通常総代会(5月15日)

5月15日、第46回通常総代会を役員・総代が出席のもと大阪市中央区のシティプラザ大阪で開催しました。この総会で、当組合が長年続けてきた総代制と支部制の廃止を決定し、新たな制度のもとで組合のさらなる発展・活性化を進めることとなりました。



第46回総代会のようす

続いて、役員・総代、それ以外の会員やメーカー会員ら約160名が参加する懇親会（会員総会）に移りました。そのスタートにあたり、中山理事長は、「組合を活性化するには、メーカー会員の皆さんの協力が無いと達成できない」などとあいさつ。そして、津波・高潮防災ステーションの見学会や新年会など今年度事業の他、来年10月に開催が迫る全日本機械工具商連合会全国大会（大阪大会）などの組合が実施するイベントを挙げ、会員・メーカー会員に積極的な参加を呼び掛けました。

そして、古里龍平副理事長が組合の前年度事業を報告し、「組合の質を上げなければ、その存在意義はない」と述べ、今、組合改革を進めている点を強調。また、メーカー会員にメリットをもたらす新たな取り組みを実施していくことにも触れました。

その後の宴席は西川正一副理事長の発声による乾杯でスタートし、出席した会員・メーカー会員相互が大いに情報交換などを行い、親交を深めました。なお、終宴にあたっては、木村吾郎副理事長が中締めを行いました。



前年度事業を報告する古里副理事長



乾杯の発声を行う西川副理事長



中締めを行う木村副理事長



懇親会のようす

## 津波・高潮ステーション見学(8月29日)

社会見学委員会（委員長木村吾郎氏）の企画で、8月29日に大阪市西区の津波・高潮ステーションを訪問しました。

今年に入ってから大阪北部地震、西日本豪雨、そして度重なる台風襲来と自然災害が絶えません。また、「近い将来必ず襲う」と言われる南海トラフ巨大地震



見学会のようす

の発生も想定されています。日本で商いを営むにあたって、自然災害をはじめとした脅威を分析、その対応策を予め事業継続計画（BCP）として策定してお

くなどの措置は、その言葉通り企業が事業を継続するためには非常に重要だと言えます。当組合では、昨年2月の全日本機械工具商連合会関西ブロック会議でBCPをテーマとしましたが、今回の社会見学会は災害に対する“気づき”の機会を提供することを主旨に催しました。

この見学会には、組合員・メーカー会員など95名が参加しました。その冒頭、木村委員長は、直近に連続した地震や豪雨、台風の災害に触れ、その際に正しい知識を持って対応することの重要性を指摘し、それを今回の見学会開催の意図と説明しました。そして、中山哲也理事長は、自身の阪神大震災時の体験を振り返りつつ、予め知識を備えておくことで「救える命もある」と事前準備の重要性を強調しました。

そして、津波・高潮ステーション内の見学に移り、津波災害を体感できるシアター「ダイナキューブ」では津波時のリアルな恐ろしさを体感。また、“海より低いまち”大阪がこれまで直面してきた台風時の高潮発生メカニズムや脅威、そしてそれを防ぐための対策の現況、また南海トラフ巨大地震の発生の歴史などを学びました。



館内を見学

施設見学の後に行われた講演会は、津波・高潮ステーション統括マネジャーの山本公一氏を講師とし「BCP対策を策定する上での前提となる考え方」のテーマで実施。「自然災害を回避し生き残るためには、災害をイメージできる知見を持つことが大事」とのメッセージが伝えられました。

なお、見学会後には場所を料理店・EL CIEROに移して懇親会が催されました。開宴にあたって古里龍平副理事長があいさつ。そして、西川正一副理事長の発声で乾杯が行われました。懇親会では、見学会での感想交換を含めて大いに歓談、親交も深めました。終わりにあたって、木村副理事長が中締めを行って散会となりました。

## ものづくり体験講座

当組合では毎年、当業界が日常的に取り扱う商品に対する知識の習得や理解度を深めるために、旋盤やフライス盤の実機を用いた「ものづくり体験講座」を摂津市のポリテクセンター関西で開いています。組合員各企業の若手社員に参加を呼び掛け、彼らが実際に切削加工を体験することで、セールスのレベルアップに繋げようという教育施策の一環です。

今年は、6月中～下旬にかけて旋盤コースを2コース、フライス盤を2コース行う予定でした。しかし、大阪北部地震の影響で、旋盤コース1コース、フライス盤コース1コースの開催が延期になっておりました。そこで改めて、10月29～31日に延期分のものづくり体験講座を開催しました。

10月29～31日の講座には旋盤コースに7名、フライス盤コースに4名が受講し、座学と加工実習に臨み、講師から与えられた課題に真剣に取り組みました。

なお、今年のものでづくり体験講座の受講者は計23名になります。



旋盤コース(座学)



フライス盤コース(加工実習)

## 知ってますか?

## 古物営業法改正

古物営業法改正に伴い、改正法施行前に古物商または古物市場主の許可を受けて営業していた方は「主たる営業所等届出書」を警察署に提出しなければいけません。届出をしないと無許可業者になりますので、ご注意ください。

届出場所は、主たる営業所所在地を管轄する警察署の生活安全課保安係になります。問い合わせも保安係で行えます。



## 大阪中小企業団体中央会表彰

大阪中小企業団体中央会から当組合員の鹿村隆明氏（株三和精密社長）と瀬川洋氏（株三共コーポレーション取締役相談役）の2名が9月5日付で表彰を受けました。



鹿村隆明氏



瀬川 洋氏

## 共同事業のお知らせ

当組合では、組合員各企業の経費や業務の削減などにお役立ていただくべく、さまざまな共同事業を行っております。

未導入企業の皆様、ぜひ一度検討されてみてはいかがでしょうか？

○ETCコーポレートカード＝月5000円を超える料金が割引が適用されます。阪神高速道の走行に大変有利となります。

※カードの届け出書類が刷新されました。当組合ホームページよりダウンロードできます。

○ガソリン給油カード＝全国のエッソ、モービル、ゼネラルのガソリンスタンドにおいて組合員特別価格で利用できます。カードの入会金・年会費は永年無料です。

○カーリース＝車両経費の削減、車両管理業務の軽減に役立ちます。定期的なメンテナンスで安全・安心です。

○グループ保険共済制度＝会社の弔慰金・見舞金制度として利用されてはいかがでしょうか？お手頃な掛金で社員の福利厚生が充実できます。

掛金は12月から月678円にダウン。これで病気死亡で110万円、事故死亡で210万円、事故入院（業務上、業務外問わず）で1日当たり1500円の補償が付与されます。

これら共同事業の詳細は、組合事務局までお問い合わせください。

## これからの予定

当組合では、今後もさまざまな行事を予定しております。ぜひ、積極的なご参加をお待ちしております。

▽新年賀詞交歓会＝2019年1月9日(水)、17時～18時45分。会場は前回と同様、ANAクラウンプラザホテル大阪（大阪市北区）の3階「万葉」となります。会費はおひとりにつき¥10,000になります。

この賀詞交歓会は、毎年550名前後の方に出席いただいております。組合員の皆様の他、メーカーの代表者・担当者の方々も多数出席されます。

▽関西ブロック会議＝2019年2月26日(火)、14時からホテルグランヴィア大阪（大阪市北区）で開催します。これには当組合の代表者をはじめ、関西ブロック所属組合の代表者が集まって、その年ごとに定めた主要テーマについて意見交換を行います。今回のテーマは、今さまざまなシーンで話題にのぼる「働き方改革」です。加えて「組織関係」「人事関係」「人材育成」「福利厚生」もテーマに加えて、そのテーマに沿った各社の取り組みの事例を会議の場で発表いただく予定です。

▽企業見学会＝2019年3月14日(木)に行います。医療機器メーカー・シスメックス(株)（神戸市中央区）様で企業見学会を開催します。また、(株)アシックススポーツ工学研究所（神戸市西区）様で講演の聴講を予定しています。そして見学会後には、日本酒蔵元の神戸酒心館（神戸市東灘区）にも立ち寄って懇親の場を設ける予定です。

▽全機工連大阪大会＝全日本機械工具商連合会の全国大会は3年に1度、東京、愛知、そして大阪の各地区組合が持ち回りで開催しております。その全国大会が来年、当組合が運営を担って大阪の地で開催されます。開催日は2019年10月16日(水)。ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区）が会場となります。

## 組合員動向

○(株)NTS（鍋倉充浩社長）＝(株)日研と(株)タンスイが合併し、4月1日で発足しました。住所は、大阪市淀川区東三国4丁目1番16号。

○(株)KIDA（木田充彦社長）＝(株)木田商店を社名変更。合わせて事務所移転を行いました。新事務所での業務開始は5月14日から。住所は、大阪市北区豊崎1丁目5番4号。